



一つ一つの心で 同窓会の輪を広げよう!



同窓会々長 永見憲吾

同窓生の皆さんにはそれぞれの職場にあってお元気に頑張っておられることと思います。今年の同窓会総会は広島駅近くのガーデンパレスに於て開催し、多数の同窓生と共に楽しいひとときを持つことが出来ました。

本年は丁度、短期大学創立27周年、母校創立25周年の年にも当たりましたのでその席上、鶴学長先生にお祝いをさせて頂きました。母校も鶴学長先生が就任され、大学と同窓会、又、在学生と後援会のより良い協力関係を作る為に、同窓会に対しても多面にわたって協力援助をして下さる状況にあります。私も会長に就任し、当初より掲げております目標もようやく動き始めたように見受けられます。すなわち、同窓会組織の充実及び、法人化への移行ですが母校との窓口である校友行政を学生課に置いて頂き、共にこの問題について話し合いをしてまいっております。特に本年は道田、橋田、両副会長を選任して頂き、この二大目標を担任部制にし、具体的に進めていくこととしました。先日の役員会も多数の参加者を得、活気に満ちた意見交換をすることが出来ました。ありがとうございます。目に見えない小さな一歩一歩の積み重ねが、小さな仲間を作り、それがだんだんと大きな仲間へと発展し、世の中をも動かすことの出来る組織に変革していくことを最近読んだ本の中から学びました。

「アクエリアン革命」という本ですが、この本の基本的な主張は「心の変革をなしとげた個人があちこちに生まれ、互いに知り合うことがなくとも目に見えない連帯と

なって拡がり、やがて世の中全体を変革していく」というものです。例えば、明治維新という変革をとり上げてみても、いつ、誰が、どこで、どんなふうに、維新を考えたのか誰にも分かりません。ある人は、高杉晋作や、桂小五郎を中心とする長州の若者たちをその原動力といい、ある人は、西郷隆盛や大久保一造など、薩摩武士の力を評価します。又、ある人々は坂本竜馬のような脱藩浪士の活躍を重視し、他の人は京の朝廷とその周辺に動きに注目するなどといった具合であります。おそらく、これらの指摘は全て真実の一部を言い当てていると思いますが、その意味では明治維新という変革は各層、各分野に発生した多数の人々の“心ある思いの結集”であったことは間違いないと思います。しかし、これらの人々は一つの組織を作っていた訳でもなければ、当初に協議してやり始めた訳でもないのです。彼らは皆、ごく小さな集団に分れ相互に連絡もなければ、知り合うこともなく運動を始めたのであります。

これと同じような話で「百番目のサル」という平和運動のための本も読んでみました。その内容の要約は、「幸せ島」という島にサルたちがエサ付けのため、サツマイモをもらって食べていました。しかし、サツマイモが砂だらけだったので、口の中がジャリジャリしていました。けれども、一びきのサルが砂だらけのサツマイモを洗えば、美味しく食べられることを知りました。そのサルは、まず自分のお母さんにそのことを教え、それから友だちにも教えていきました。その友だちも、周りのサ

ルたちに教えていき、だんだんと広がっていきました。ある朝、99ひき目のサルが初めてサツマイモを洗うことを知りました。そして、その日の翌近く百番目のサルがサツマイモを洗うのを知った時、その日の夕方までに幸せ島の殆ど全部のサルがサツマイモを洗い始めました。しかし、これだけでなく、驚いたことには他の島のサルたちもサツマイモを洗い始めました。島と島とは海があって、互いに連絡し合うことが出来なかったのですが、その思いは心から心に伝わって行ったということです。

国、地球という大きな単位の組織であれ、中小企業や私たちのような組織であれ、無責任に破壊することはやさしいことですが、その組織を維持し、発展させることは大変な努力が必要です。しかし、心ある一人一人の仲間が地道に行動していけば必ずや、より理想的な組織に発展させることが出来るものと確信します。

同窓生の皆さん方もそれぞれの職場にあつて、努力されることを祈念致しますと共に、同窓会に於ても互いに助け合い協力し合っていくことを願っております。

第23回定期総会報告

第23回総会が去る4月17日、広島ガーデンパレスにおいて開催された。

総会は、まず永見恵吾会長（昭和62年電子卒）の挨拶があり、議長に黒瀬能率氏（昭和42年電子卒）を選出し、昭和62年度活動報告、会計報告、会計監査報告があり承認された。次に昭和63年度活動方針、会費に関する会則改正、予算案、役員改選の説明があり承認された。議題の順に滞りなく進められ閉会した。以下に総会の主な内容を述べる。

青幹事長（昭和50年土木卒）は、昭和62年度活動報告の中で、大学との協力体制、足もとの支部組織の充実などを進めて来られた旨の説明があり、今後これを基盤にさらに活動を活発化する必要を述べられた。

物価上昇、同窓会財政の将来を考えて、入会金2,000円を3,000円に、終身会費13,000円を15,000円とする会則改正案が出され承認された。

役員改選では、永見会長が再任され、同窓会の法人化にむけての協力をいただきたい旨の挨拶があった。また、幹事長には西野氏（昭和49年経営卒）が選出され、同窓会財政の見直し、同窓生のネットワーク作りなどの活動方針案が提案され、了承された。

引き続き、鶴学長をはじめ、母校の先生方および職員



の方々等、多くの教職員の方々にもご出席頂き、懇親会が開催された。懇親会では学長ならびに各教職員の方々よりの同窓生への心あたたまるお言葉を頂くとともに、同窓会員の和気あいあいとした雰囲気の中で、盛会の中に終了した。



幹事長挨拶

・同窓会幹事長

西野達夫

同窓会創立20周年の後を受け、同窓会の基盤となる組織づくり、情報基盤となる名簿の作成・充実、大学と同窓会の協力体制等、同窓会も新しい時代を迎えています。この発展もひとえに、これまで同窓会を支え、運営されてこられた同窓会員のご協力のおかげであります。こうした中で、このたび幹事長を拝命いたし、微力ながら同窓会運営に携わらせて頂いております。

本年度の主な活動方針は、以下のとおりです。

① 同窓会組織の見直し

・同窓会と既存組織（大学、学科組織、後援会等）

- ・法人化等の同窓会内部組織の検討
 - ② 地域ネットワーク作り
 - ・県支部結成の促進
 - ③ 同窓会財政の見直し
 - ・収入と支出バランスの将来展望
- 上記項目のうち、すでに①②の項目はこれまでに着実に進められておりますが、さらに強化すべきは強化し、検討すべきは検討していく必要があります。
- これらの同窓会の基盤作りを促進するためには、どうしても同窓会財政の見直しをして、将来の活動方向を見

定めておく必要があります、十分に検討していく必要があります。

同窓会も新しい時代を迎え、基盤作りを促進するとともに、同窓会会長や他組織との連携や協力も必要となつてまいりました。これからの「開かれた同窓会」の基盤は、会員の皆様方の同窓会への関心、期待、思いやりに支えられたものでなくてはなりません。

会員の皆様方の絶大なるご協力、ご支援のもとに、我々役員・幹事一同、同窓会活動を推進してゆく所存です。よろしくお願いいたします。

昭和62年度会計報告

自 昭和62年4月1日
至 昭和63年3月31日

<収支決算>

(単位：円)

項 目	収 入	支 出	残 高
昭和62年度総収入	15,110,572		
昭和62年度総支出		9,984,284	
合 計	15,110,572	9,984,284	5,126,288

※ 5,000,000円は基金に繰入れる。

<資産の部>

昭和63年3月31日現在

項 目	収 入	支 出	残 高
昭和61年度繰越金	72,875,512		
預 金 利 息	3,013,001		
昭和62年度繰込金	5,000,000		
普 通 預 金		8,513	
合 計	80,888,513	8,513	80,880,000

自 昭和62年4月1日
至 昭和63年3月31日

<収入の部>

項 目	決 算 額
昭和61年度繰越金	349,199
入 学 金 1071*2000	2,142,000
終 身 会 費 869*13000	11,297,000
総 会 会 費 72*2000	144,000
広 告 料	400,000
雑収入(名簿一部負担金等)	754,990
預 金 利 息	23,383
合 計	15,110,572

<支出の部>

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	差 異
名簿発行費	1,700,000	346,145	1,353,855
会誌発行費	4,000,000	2,246,140	1,753,860
会報発行費	1,173,120	1,173,120	0
総会開催費	406,170	406,170	0
支 部 費	700,000	601,923	98,077
在学生援助費	1,300,000	1,290,000	10,000
卒業記念品代	1,580,710	569,620	1,011,090
通 信 費	420,000	345,205	74,795
消 耗 品 費	500,000	492,377	7,623
交 通 費	140,000	116,150	23,850
会 議 費	260,000	231,542	28,458
役員手当	120,000	103,500	16,500
調 査 費	30,000	10,000	20,000
備 品 費	110,000	109,000	1,000
委 託 費	1,500,000	1,475,138	24,862
奨学基金繰込金	322,000	322,000	0
鶴奨学会寄付金	100,000	100,000	0
予 備 費	101,649	46,254	55,395
合 計	14,463,649	9,984,284	4,479,365

昭和62年度同窓会奨学会会計報告

(単位：円)

項目	収 入	支 出	残 高
基 金	7,718,959		
繰 込 金	322,000		
利 息	992		
奨 学 金		360,000	
寄 付 金	194,570		
手 数 料		2,980	
合 計	8,236,521	362,980	7,873,541

以上の会計報告の正確なることを承認します。

昭和63年4月2日

監査 横田 好弘

監査 川畑 敬志

昭和63年度予算

自 昭和63年4月1日
至 昭和64年3月31日

<収入の部>

(単位：円)

項 目	予 算 額	備 考
昭和62年度繰越金	126,288	
入 会 金	1,800,000	2,000円*900人
終 身 会 費	12,150,000	15,000円*810人
総 会 会 費	300,000	3,000円*100人
預 金 利 息	150,000	
広 告 料	450,000	
雑収入(寄付金等)	100,000	
合 計	15,076,288	

<支出の部>

(単位：円)

項 目	予 算 額	備 考
会 誌 発 行 費	1,230,000	
印 刷 費	1,230,000	75円*16,310人
会 報 発 行 費	210,000	
印 刷 費	210,000	14円*14,613人
名 簿 発 行 費	1,700,000	
総 会 開 催 費	680,000	
懇 親 会 費	650,000	
諸 費	30,000	
支 部 費	400,000	
在 学 生 援 助 費	1,300,000	
大 学 祭 援 助 費	400,000	
体 育 祭 援 助 費	300,000	
ク ラ ブ 援 助 費	600,000	
卒 業 記 念 費	500,000	写真代570円*810人
通 信 費	2,650,000	
消 耗 品 費	950,000	
交 通 費	420,000	
会 報 費	430,000	
役 員 手 当	120,000	
会 計	15,000	
会 報 発 行 責 任 者	2,000	
会 誌 発 行 責 任 者	5,000	
名 簿 発 行 責 任 者	5,000	
支 部 担 当 責 任 者	5,000	
そ の 他 (日 当)	88,000	
備 品 費	100,000	
委 託 費	1,920,000	
奨 学 基 金 繰 込 金	310,000	
勸 奨 学 会 寄 付 金	100,000	
記 念 事 業 積 立 金	1,000,000	
予 備 費	1,056,288	
合 計	15,076,288	

昭和63年度 同窓会役員案

	所 属	氏 名	卒業年	卒業学科		氏 名	卒業年	卒業学科
会 長		永見 憲吾	42	電 子	評 議 員	上岡 洋史	42	電 子
副 会 長		道田 憲治	45	経 営	"	山口 和夫	47	"
"		橋田 好弘	44	機 械	"	松原 昌弘	51	電 気
幹 事 長	経 営	西野 達夫	49	経 営	"	森本 房義	41	"
前幹事長	土 木	菅 雄三	50	土 木	"	猪原 憲昭	44	機 械
"	機 械	吉田 和信	55	機 械	"	砂原 照雄	46	"
会 計	基 礎	中西 助次	43	"	"	杉島 民雄	49	"
"	機 械	小西 正明	43	"	"	大藤 英寿	43	"
"	電 子	玉野 和保	44	電 子	"	坂本 幸雄	45	"
会計監査	機 械	寺地 越二	41	"	"	玉田 康荘	45	"
"		金掘 一郎	45	建 築	"	藤川 正博	47	"
書 記	建 築	大林 真	55	土 木	"	荒谷 寿一	47	土 木
"	土 木	村中 昭典	59	"	"	舟倉 宏	50	"
幹 事	電 子	村田 弘志	41	電 子	"	三浦 勝行	46	"
"	"	川畑 敬志	42	"	"	森 聖輝	46	"
"	"	重広 孝則	46	"	"	青木 能典	44	建 築
"	電 気	沖根 光夫	44	"	"	中塚 晴夫	44	"
"	"	湯尻 照	39	電 気	"	森京 正	53	"
"	"	猪込 憲治	42	"	"	森田 洋生	47	"
"	"	原田 義治	42	"	"	植村 邦彦	56	"
"	機 械	片山 剛之丞	42	電 子	"	上之 博文	50	"
"	"	松江 孝博	43	機 械	"	中島 信夫	49	"
"	"	水落 健治	61	"	"	峠 孝司	45	経 営
"	"	山下 一彦	55	"	"	太田 喜徳	50	"
"	"	桜井 元康	62	"	"	吉清 有三	46	"
"	"	松岡 康弘	62	"	"	岡本 世紀	53	"
"	土 木	伊藤 秀敏	45	土 木				
"	建 築	菅原 辰幸	44	建 築				
"	"	手越 義昭	49	"				
"	経 営	西田 弘展	45	経 営				
"	"	松広 青	48	"				
"	基 礎	森滝 美治郎	43	機 械				
"	"	古川 博仁	54	"				
"	電 算	砂田 謙二	39	電 子				
"	"	近宗 貴	45	経 営				
"	"	広重 隆	45	"				
"	学生部	中田 時生	46	電 気				
"	総務部	福永 保	51	経 営				

寄付金受入状況

昭和63年3月31日現在

鶴学園30周年記念事業寄付金	1,651,000円
名簿発行費一部負担金寄付	806,000円
奨学金寄付	187,000円

計 報

逝去会員

443231 鳥井原良則

405011 有近 健二 S.62.6.19死去

大学は今…



我が国の産業界の、あらゆる分野で存分に活躍の同窓生の皆さま方、母校の近況をお知らせいたします。

今年、広島工業大学では981名もの新入生を迎えました。63年度の受験生は成績優秀者が多く、学科によっては、合格最低点を5%から10%もアップしました。一時はこの英新による歩止りを大変懸念しておりましたが、結果としては、この優秀者がこぞって入学して来ました。しかしながら、昨今の国公立大学の入試改革は広く世間の反響を呼び、年ごとに変わる国公立入試の動向にあわせて私立大学は、入試日程を早めたり、試験科目負担の軽減をはかる一方で、社会情勢を反映した話題性のある学部の新増設、ユニーク入試の導入などイメージアップを図るための施策に余念のない毎日です。

受験生の志望動向については、中堅私大の難化、併願率のアップなど、安全志向が定着し、経済社会への関心の高まりと共に、年々「文高理低」現象が顕著になり、文系学部のうち特に経済学部への人気上昇しています。その上理工学部については、やはり国公立大入試改革の余波を尚一層大きく受け、肝心の志望者数が減って来ています。

我が広島工大も、今や、中四国の

雄として、全国的にも理工系私大の中堅校、あるいは西日本ブロックの上位校の位置づけを確保するに至りましたが、前述の例にもれず志望者数はいまひとつの感があります。このような現状の中、やがて来る、18歳人口の急増、急減期を目前にして、大学は今、鶴学長を先頭に教職員が、心をあわせて、大学発展のための施策を多方面から試行しています。長年の構想が熟した大学院設立の動きとあいまって、教授陣容の充実、そして情報化、国際化社会に適応した人材育成のための教育研究と、あわせて時代に促した設備、機器の導入を図ろうと心をくだいております。

現在大規模な改築工事が行われている、6号館と11号館がまさにその実例です。6号館は鉄骨PC造り7階、延面積5638㎡（地下一階）で、機械工学科の実験・実習室、工作センターをはじめ、ゼミ室や研究室が配置されます。また11号館は鉄骨2階延面積358㎡で天井の高い建物です。7月末には完成の予定ですので、夏期休暇を利用して、是非一度、リフレッシュした母校をおたづねください。

さて、本学の同窓会も20年余りを経て、各企業、官公庁などのさまざまな機関の中核を担っている方々が多くなりました。この大学に残って

教鞭を執っておられる先生や、あるいは職員の方も中堅としてこの学園を確実にささえておられます。大学がこの同窓会によせる期待は大きく、大学改革推進の風潮にみあった、母校の発展と充実のために皆さんのご協力を是非ともよろしくお願い申し上げます。

夏から秋にかけて、大学が主催する教育懇談会や各地方都市の教育委員会が主催する、進学相談会などで中四国、九州地区へ教職員を派遣し、学校紹介を行っていますが今後このほかに他県での父母懇談会なども検討されつつあります。そのような折には、また各支部を通してご連絡いたしますので、会場にお出かけ下さい。先輩諸氏の元氣な姿が教職員の何よりの励みになることと思います。

たくさんの方々の皆さまのご健勝を祈ります。

学園だより

附属広島高校・附属中学校

屋内運動場の 建設進む

附中・広高創立以来の念願であった「屋内運動場」（屋内体育館）の建設が始まった。

建築中の屋内運動場は、工大キャンパス内、「武道館」に隣接し、その南側に建つこととなる。建物の構造は鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造りであり、延面積は1,617.05㎡である。一階フロアにはバレーおよびバスケットコートが用意されている他、ステージも設けられる予定で、完成は今年10月末日。

竣工の暁には、体育の授業での日常的な活用は勿論であるが、入学式

☆

64年度の入試要項がきました。
募集要項は7月下旬から販売します。

お問い合わせは

〒731-51 広島市佐伯区五日市町三宅725
広島工業大学 入試係 (0829)21-3121

等の学校行事の他、文化祭や体育祭クラブ活動等に活用され、学園の「建学の精神」や「教育方針」の具現化が一層計られることになる。

<文化局だより>

同窓生のみなさん、初めまして。私は第26期の文化局局長の甲斐と申します。これから、よろしく願い申し上げます。

さて、今年文化局は、今まで以上に活発に活動しており、6月10日～12日にかけての第20回芸術展、7月1日に郵便貯金ホールで開かれた第23回定期演奏会が無事に終わり、これらの二大行事を盛大にかざる事ができました。

サークルの方も、今年はどのサークルも活動に熱心で、文化局としては、非常に助かっています。

また、今年は、文化講演会なる物をやってみようと思っています。これは、まだあくまで予定で、実際に行われるかどうかわかりませんが、開催できるように今から努力しています。準備が整いましたら、追って御連絡致しますので、その時はみなさんお誘いあわせの上、ぜひお越し下さい。

さらに、11月に大学祭をひかえていますので、いそがしい毎日をすごしておりますが、我々一同皆がんばっておりますので、これからも、広島工業大学文化局をよろしく願い申し上げます。

文化局サークル名簿

茶道部	吉原 秀一	21-8014
囲碁・将棋	小林 正和	21-2373
落語研	仁井本 進	21-0279
E. S. S	広中 力男	31-2709
アイデア研	中山 勝三	281-6660 (082)
マンドリン	富永 和也	23-4705
グリー	松本 昌己	230-0454 (082)
軽音楽	有吉 貴司	21-7944
フォーク	面地 博光	2-5677 (08462)
ロック	松村 勉	877-8568 (082)
美術	和田 守	892-2010 (082)
映研	難波 和通	232-5264 (082)
写真	丸田 憲祐	32-2033
書道	溝上 憲司	36-1088
A. I. C	上田 政行	21-4200
科学部	川本 浩之	23-2669
無線部	坂本 寿之	22-7109

基礎理	片岡 憲明	2-9284 (08275)
天文部	西川 一成	273-1783 (082)
放送部	堀江 晋也	32-2033
吟道同好会		
鉄研		
吹奏楽愛好会	朝比 繁則	21-4202

<体育会だより>

「志」=龍のごとく=

現在、第13期体育会は夏休みに向けて、様々な行事を行い、また準備を行っております。

現在までに行われた行事を紹介させていただきます。

- ・第13回三宅駅伝大会 12月14日
- ・第20回大山スキーパーティー 2月27日～3月5日
- ・リーダーズセミナー 4月1日・2日
- ・新入生歓迎会 4月10日
- ・第27回体育祭 5月13日～5月16日

以上の中で、体育会が特に力を入れた、体育祭について紹介させていただきます。

今年は、「志」=龍のごとく=をテーマに行いましたが、そのせいか雨に祟られ、進行を危ぶまれましたが、競技短縮等の努力により、無事終えることが出来ました。

今回の体育祭の目玉は、何といても新一号館に掲げられた縦18m横9mの龍の絵と、8本の綱、1500人以上の参加した大綱引きでしょう。しかし、各競技の人数は少なく、来年の課題となりそうです。

以下にこれからの予定を紹介させていただきます。

- ・第13回前期ソフトボール大会 6月18,19,25,26日
- ・第9回武道班合同演武祭 10月15日
- ・第10回少年少女球技大会 10月30日・11月3日
- ・第9回少年少女剣道大会 10月30日
- ・第13回後期ソフトボール大会 11月19,20,23日
- ・体育会本部OB総会 11月27日
- ・スポーツ講演会 未定

体育会は、現在サークルのため、また一般学生へのスポーツの普及にと、頑張っております。

今年もより一層の飛躍を望み、努力を重ねて行く所存ですので、諸先輩方より一層の御協力と、御指導御鞭撻の程、宜しく御願い申し上げます。



体育会サークル名簿

	氏名	T E L		氏名	T E L
柔道	渋川 克宏	(082)283-6550	バスケット	山根 叔将	(082)271-1704
剣道	小田 洋	(082)874-8364	硬式野球	横田 洋	(082)294-1396
弓道	入江 洋	(082)272-6230	軟式野球	延近 達弘	(082)21-2041
合気道	井原 秀則	(082)21-2307	卓球	戸澤 廣俊	(082)23-5916
小林寺	沖中 栄治	(082)229-2489	ハンドボール	下満 滋	(082)23-9218
空手道	黒田 昭	(082)36-1088	硬式庭球	後 正士	(082)56-2587
ボクシング	内本 康雄	(082)23-7048	軟式庭球	井上 英知	(082)22-7907
正道衛(同)	瀬崎 恭啓	(082)21-6070	サッカー	石田 清士	(082)843-7866
ヨット	田村 晃一	(082)22-3273	バレーボール	二井 浩樹	(082)293-5968
スキー	迫 誠志	(082)899-2692	ラグビー	岡崎 寿	(082)23-0010
自動車	伊豆田 浩三	(082)23-4488	バドミントン	大国 朋夫	(082)23-6294
ウェイトL	渡辺 健彦	(082)21-3417	エスキーT(同)	的場 智英	(082)31-8796
アーチェリー	青木 寛	(082)28-2067	ゴルフ(同)	木谷 義徳	(082)25-3031
水泳	川口 修司	(082)21-3417	ソフトボール	竹内 和志	(082)55-0981
陸上	田中 真	(082)237-0129	ユースH	小坂 太郎	(082)22-6344
漕艇	牛尾 政幸	(082)241-3530	山岳	石原 広一郎	(082)87-4885
スケート	宇都宮 保	(082)21-7615	サイクリング	岡村 芳男	(082)23-2669
馬術(同)	近藤 直樹	(082)32-6158	ワンダーV	河本 光夫	(082)289-4018
射撃(愛)	田村 佳和	(082)23-2669	ピラスキー(愛)	古瀬 裕司	(082)21-0724
モーターC(愛)	中元 昭敏	(082)21-2373	その他		

<本部だより>

各地域(県単位)支部の結成に御協力を

本年度も活動方針の重点課題として、同窓会組織の充実・連帯強化が掲げられています。

支部担当としましては、各地域・職場において同窓生の連携を強めていただくことが同窓会組織の充実の基本であると考え活動いたしております。

現在、同窓会には関東・近畿等の地域支部が7つ、職場支部が16存在しています。そして、2つの職場支部の発足準備が進んでいるところです。

ここで2～3年間の支部結成推進地域として中国・四国・九州の西日本地域を考え、これら地域で県支部が早々に結成されることを期待しているところです。これら地域在住の諸兄の連携強化気運の盛りあがり期待します。

本年度は、その中でも愛媛・福岡県等、同窓会あるいは母校にとって拠点地域と考えられる地域での支部結成を目指しております。これら地域で県支部結成に協力していただける方を求めています。手伝ってやろうと思われる方の一報(同窓会事務局へ)を期待いたしますとともに、支部担当より有志の方々に協力要請をいたしたく準備を進めております。

その折には御協力の程よろしくご願ひ申し上げます。

各地域で支部が結成される時の同窓会本部の協力体制

が整備されつつあります。以下に協力可能な事項を整理します。

- 地域在住者名簿の作成(打ち出し)
- 郵便用あて名(タックシート)シートの作成
- 総会会場費の援助(3万円)
- ※職場支部の場合は発足時のみ2万円です。
- その他情報提供等協力

また、母校広島工業大学からも支部発足祝金が準備されております。そして、総会時には先生方に出席いただけるようにもなっています。

各地域で積極的にお世話いただける方の一報を期待しております。西日本地域に限らずお世話いただける方がありましたら支部の結成を推進いたしたく考えております。

昭和64年版同窓会々員名簿購入予約について

配布価格 1冊 3,000円(送料込み)

発行予定 昭和64年3月末

申込方法 同窓会事務局へ申し込んで下さい。

卒業年・学科・氏名・必要冊数・連絡先

支払い方法は、後日連絡いたします。

※同窓会々員以外には配布いたしません。